

どげんなっとうと？



答弁中の中嶋町長

須恵町の発展と安全・安心のために

できるところから

問 第5次須恵町総合計画に基づき、施策大綱4で「安全で安心して快適に暮らせるまちづくり」を示されています。施策項目中、「利便性の高い都市の形成」では、「道路・交通体系の整備推進」があります。また、町長の意書では、「幹線道路沿いの企業の進出、福岡都市圏へのアクセス等を更に進め、快適な日常

生活を送る上で更なる改善に努めます」とあります。そこで、地下鉄福岡空港線を須恵町に延長できると大変便利になりますが、可能なのかお尋ねします。
J R須恵中央駅前の整備、県道筑紫野古賀線4車線拡幅工事の早期完成の見直しは。また行財政改革推進の具体的な考えを尋ねます。



原野 敏彦 議員

答 中嶋町長 私の町づくりの基本の中で特別な位置にあるのが、町民が安心できる町、安全で住み良い町を作ることです。
現在27億円の基金がありますので、交通アクセス等いろいろな課題が山積していますが、

町民の方々の利便性や、何が一番望まれているのかを把握しながら、活気ある須恵町になるような事業を推進します。
交通アクセスの問題は、志免須恵線の延長で、粕屋町の丸の内から先の道路を改良し、粕屋町と志免町を径由して博多の森までをつなぐ、仮称「須恵東平尾線」計画を、関係3町の町長と一緒に、福岡県土整備事務所に要望しています。
幼児園構想については、近いうちに、今のアザレア幼児園を新設したいと考えています。
そして最大の懸案事項であ



高速道路側から見たばた山

る、3町所有のばた山の利活用については、民間の力を活用しながら開発することができれば、町の活性化が図れると思っています。

徘徊高齢者保護のために

広域での取り組み決定

問 お年寄りの方で、町を徘徊し、行方が分からなくなる事件が頻発しています。特に認知症などをお持ちの方は、行動の予測がつかない場合が多く、家族も地域も大変な心配を抱えることとなります。

えているようです。このような事業も住民の安全、命を守るサービスに直結します。
須恵町において、または広域において導入を検討いただきたいと思えます。



田ノ上 真 議員

答 中嶋町長 先日の福岡都市圏協議会で、福岡市長より、福岡市で開始したネットワーク事業への参加の提案があり、都市圏の自治体全会一致で「徘徊高齢者捜してメール」を広域で取り組むことを決定しました。
福岡市が構築したシステムを活用することにより、徘徊高齢者対策が実施できるようになります。26年中には参加できる予定です。

可能性はない

地下鉄の延伸は

問 昨今の話題で、福岡市営地下鉄を須恵町まで延伸し、太宰府や飯塚までつなげるとい構想を耳にしました。私としては、魅力的な話ではあるが実現性には大いに欠ける構想だと考えています。

この地下鉄延伸の実現可能性はあるのか、可能にする条件はどのようなものか見解を願います。

また一方、以前できなかったことが今ではできる可能性もあります。一度、行政のしっかりとした見解を出すことが住民の利益につながると思います。

答 中嶋町長 地下鉄は「福岡市営」であるため、糟屋郡の方まで来ることはないと考えています。
昨年認可が下りた天神南から博多駅のルートは1・5キロあり、その事業費は450億円必要とされています。
仮に空港からばた山まで延伸するとしても、距離が4キロあり、事業費は1200億円ほど必要となります。
その負担は地元である志免町・須恵町・粕屋町で持つことになり、資金計画の面でその可能性はないと思います。



福岡市で取り組んでいる「徘徊高齢者捜してメール」

徘徊高齢者捜してメール